

一般社団法人日本解剖学会 2019年(平成31年)度第1回常務理事会議事録

日時：2019年1月26日（土）9：50～11：50

場所：A P 東京八重洲通り（7階Vルーム）

出席者：岡部 繁男(理事長)、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、八木沼 洋行(以上常務理事)
松崎 利行、阪上 洋行（以上、常任幹事）、宍戸基行、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の議事録（案）について確認された。

(1) 2018年(平成30年)度第5回常務理事会（平成30年12月16日開催）議事録（案）

(2) 2018年(平成30年)度第5回理事会（平成30年12月16日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成30年12月分

入会者 該当者なし

退会者 正会員 31名、学生 2名、団体会員 3名

逝去会員(2018年12月15日～2019年1月23日に事務局に連絡のあった方)：該当者なし

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼：(一社)日本医療安全機構より「平成30年度医療事故調査制度普及・啓発用ポスターの送付について」他28件

②書籍・定期通信 他：名古屋大学より「第38回人体解剖トレーニングセミナー報告書」他8件

(3) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

資料に基づき、年会費納入状況について報告があった。3年以上の会費未納者は、第124回総会・全国学術集会の終了までに納金がない場合は除名となるため、理事会において回覧資料で会費未納者リストを確認してもらい、各支部の未納者に会費納入を促すように協力を求めることとした。

(4) 各種委員会報告について

資料に基づき、各種委員会の活動報告書を確認した。現時点で未提出分の委員会報告については総会までに確認した後、定時社員総会の資料に掲載することとした。

(5) 平成31年度定時社員総会の資料作成について

資料に基づき、平成31年度定時社員総会の資料内容が説明された。今後、実施予定の監事及び独立監査人の事業監査の結果などを反映させて、最終版の資料とすることが報告された。

(6) 平成31年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、平成30年度定時社員総会の案内と書面表決状について確認した。

(7) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、①第17期男女共同参画学協会連絡会 第1回運営委員会(2018年12月10日開催)の議事内容、②大学高等教育機関の入学試験に対する声明内容、③研究力強化に向けた女性活躍指標の整備に関する要望(案)に対する賛同の依頼について報告された。③に関して審議の結果、内容的に妥当なものであり、本学会として賛同することで承認された。

(8) 死体解剖保存法施行規則の一部を改正する省令の施行について

資料に基づき、2018年12月11日に公布施行された死体解剖保存法施行規則の一部を改正する省令内容について報告された。

(9) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) ICD-11和訳について

資料に基づき、WHOが公表した国際疾病分類の第11回改訂版の解剖用語の和訳に関する厚生労働省国際分類情報管理室からの依頼に対して、解剖学会用語委員会において、坂井委員長のもと7名の委員が分担して和訳を対応していることが報告された。担当する用語が3,032語もあり委員の負担が大きいことより、常務理事会として、最終確認作業において専門分野の学会員に委嘱するなどのサポートを必要に応じて行うことで了承された。

(2) 解剖学雑誌電子化について

資料に基づき、解剖学雑誌電子化に関する概算見積書内容について説明され、前回の理事会で了承された予算200万円以内での実施が可能であることが報告された。審議の結果、この見積内容で理事会に承認を得た後、電子化作業を実施することで了承された。

(3) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2019(平成31)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2019(平成31)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について、第3回プログラム委員会(2018年12月22日開催)で検討されたプログラム内容と日程に関する修正内容が報告された。

(2) 「若手研究者の会」準備状況について

資料に基づき、OHASYSを介して「若手研究者の会」設立準備委員会の運営委員を募集した結果、近藤誠先生(大阪大)を委員長とするメンバーが決定し、大会第3日目のランチョン討論会の開催に向けて準備に着手したことが報告された。今後、OHASYSや理事会を介して、多数の会員の参加を促すように協力を求めることとした。

(3) 賞・研究費候補者選考委員会報告

資料に基づき、2018(平成30)年度日本解剖学会奨励賞の選考に関する賞・研究費候補者選考委員会での報告書内容が説明された。委員会からの申し送り事項について検討した結果、申請書記載事項に申請歴と研究分野を加えることが了承された。また、選考過程における解剖学分野の教育経験・実績の評価の是非に関しては、奨励賞の在り方を含めて、理事会で意見を求めることとした。

(4) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、アウトリーチ委員会で作成した第30回日本医学会総会2019中部での学会紹介用のポスター内容が報告され、了承された。

(5) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、日本学術会議第24期生物科学分科会・生物科学分野教育用語検討小委員会が取りまとめた「高等学校の生物教育における重要用語の選定について」に対して、医学用語とできる限り整合性をとった修正案を解剖学用語委員会に取りまとめ、本学会として答申したことが報告された。

(6) 日本脳科学関連学会連合

資料に基づき、脳科学将来構想委員会の構成委員が決定された事が報告された。

(7) 技術職員に関するアンケートについて

資料に基づき、技術職員に関するアンケートの回答を2019年1月10日で締切り(80/97校回答、回答率82.5%)、現在、集計を行っていることが報告された。今後、未回答校にアンケートへの協力を再度依頼するとともに、次期の解剖体、教育・若手育成、認定解剖組織技術者資格審査3委員会において、集計結果の分析と活用に関する協議を継続してもらうこ

とで了承された。

- (8) 認定一級技術者試験の過去問公開について
資料に基づき、委員会作成原案に一部修正を加えて、2月初旬の学会ウェブページへの掲載とOHASYSでの会員への配信により、認定一級技術者試験の過去問を公開する予定であることが報告された。
- (9) その他
特になし。

4. 会計報告

- (1) 平成30年度支部学術集会収支報告について
第28回関東支部懇話会、第106回関東支部学術集会、第78回中部支部学術集会、第94回近畿支部学術集会、第73回中国・四国支部学術集会、第74回九州支部学術集会の収支決算報告書の内容が報告された。
- (2) 平成30年度決算書概要(案)について
資料に基づき、平成30年度決算報告書（平成30年1月1日～12月31日）について説明され、当期収支差額は黒字ではあるが、新規入会者や会員数の減少による受取入会金と会費収入の減少など長期的な視点での懸念事項もあり、今後の推移を注視する必要があることが報告された。
- (3) 日本外科学会CST推進委員会報告
資料に基づき、厚労省と文科省におけるCST関連の来年度予算案の内容が報告された。厚労省予算は約2.9億円で今年度と同様の内訳であるのに対して、文科省予算は課題解決型高度医療人材養成プログラム（外科解剖・手術領域）に対する新規予算(0.6億)で、複数の大学間の連携による大学院過程でのCST関連教育プログラムの確立と拠点化を目指すもので、解剖実習体を活用した国内での医療機器の研究開発の推進も含まれており、今後生じる法的な問題も含めて、CST委員会において検討中であることが報告された。また、第124回日本解剖学会総会・全国学術集会において、CST関連のシンポジウムを開催し、学会員に情報を提供する予定であることが報告された。
- (4) その他
特になし。

III. 審議事項

1. 教授就任による代議員について
資料に基づき、教授就任による代議員申請について審議の結果、以下の1名が承認された。
吉子 裕二先生（広島大・歯・組織代謝生物学 平成24年10月1日就任）
2. 休会申請について
資料に基づき、休会申請1件について、書類不備のため審議を保留することとした。
3. 平成31年度予算(案)について
資料に基づき、平成31年度予算(案)について説明され、審議の結果、承認された。
4. 永年会員の推薦について
資料に基づき、本人の意思確認の結果をふまえて10名を永年会員として推薦することが説明され、審議の結果、承認された。意思確認の問い合わせに未回答の候補者については、後日推薦希望の回答があればメール審議にかけることになった。
5. 名誉会員メダル作成について
資料に基づき、名誉会員に対して社員総会時に名誉会員称号記とともに授与するメダルのデザイン案が説明され、審議の結果、承認された。
6. 商業誌における転載許諾の取り扱いについて

資料に基づき、学術著作権協会への転載複製利用権利の管理受託について説明された。審議の結果、「解剖学雑誌」の「アナログ複写複製」「デジタル複写複製」について委託し、「転載」は委託しないこと、また「ASI」誌については冊子・電子版ともに委託しないこととし、その旨学術著作権協会に回答することとなった。ASI等の商業誌における転載許諾に関する著作権規定(案)については、著作権利用の許諾を必要する対象を、「主として商用（製薬会社の販促用資料等）の目的とする場合」と明文化し、使用料を学術著作権協会のそれに準じて設定した修正案が説明され、審議の結果、承認された。

7. 定款、ならびに代議員選出規程の一部改正について

資料に基づき、定款及び代議員選出規定の改正案に関して、①役員及び会計監査人の選出基準日を明確にするために「役員就任の予定日に満65歳以上になる代議員は役員候補者の選出時点で被選挙権を持たない」とし、②代議員数の下限を300名から200名に変更する改正案が説明され、審議の結果、承認された。今後、理事会の承認を経て、総会で諮ることとした。

8. KAAとの若手会員交流協定の締結について

資料に基づき、若手解剖学者のプロモーションと交流を目的としたKAAとの若手会員交流協定案の内容が説明され、審議の結果、了承された。

9. 次期理事会への申し送り事項について（理事長）

資料に基づき、次期理事会への申し送り事項が確認され、審議の結果、承認された。

10. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について

常務理事会	3月26日（火）09:20～11:20（日本歯科大学新潟生命歯学部4号館セミナー室）
支部長会	3月26日（火）11:20～11:50（日本歯科大学新潟生命歯学部4号館セミナー室）
理事会	3月26日（火）16:10～18:10（日本歯科大学新潟生命歯学部8号館2F会議室）
定時社員総会	3月27日（水）10:50～12:00（朱鷺メッセA会場（4F「マリンホール」）
次期常務理事会	3月28日（木）17:20～17:50（朱鷺メッセ 小会議室306）
次期理事会	3月28日（木）17:50～18:20（朱鷺メッセ 小会議室306）
各種委員会	3月27日（水）～3/29（金）

11. その他

特になし。